

## 2023 年度 認定社会福祉士更新研修を開催しました

認定社会福祉士認証・認定機構では、2024年3月16日（土）～17日（日）の2日間に渡り、「2023年度 認定社会福祉士更新研修」（以下、「本研修」という。）を開催しました。

本研修は、「認定社会福祉士」の更新申請に必要な単位をパッケージ化し、本研修の修了（8単位相当）と、スーパービジョンを受けた実績（2単位相当）で、更新に必要な単位（10単位相当）を取得することができる研修として開催し、28名が受講しました（修了確定は6月頃）。

研修1日目は、課題1として受講者が各省庁等から発行されている白書や資料を読み、受講者自身の実践課題についてレジュメにまとめたものを、各グループに分かれて実践課題発表を行いました。どのグループとも、グループメンバーが発表した内容に対して、積極的な質疑応答が行われ、非常に有意義な実践課題発表となりました。

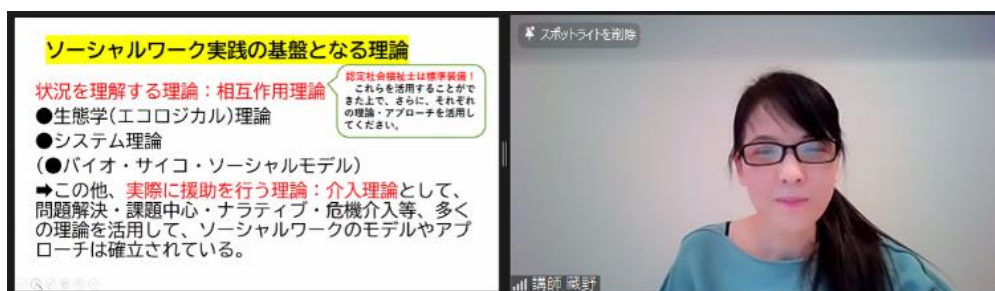
続くプログラムは、武蔵野大学教授の渡辺裕一先生から、講義・演習「プロセスレコードを活用したスーパービジョン」が行われました。本プログラムは、課題2として受講者が自身実践をもとにまとめたプロセスレコードとエコマップを活用して、価値・倫理原則および理論・モデル等を活用しながら自らの実践を「言語化」することを目的として開催されました。

受講者は、グループの中で、スーパーバイザー、スーパーバイジー、見守り役を各自担当し、価値・倫理原則および理論・モデル等を活用することを意識しながら演習を行いました。



研修2日目は、受講者のグループを変えて、講義・演習「プロセスレコードを活用したスーパービジョン」の後半が行われました。受講者は、前日に学んだことをふまえて、改めて1日目と同じ演習に取り組むことで、価値・倫理原則および理論・モデル等を活用しながら自らの実践を「言語化」することの大切さを学びました。

続いて、大妻女子大学教授の藏野ともみ先生より、講義「事後課題の説明」が行われました。本プログラムでは、今回の研修内容を改めて確認し、根拠を持った実践、言語化の必要性等について講義がなされ、受講者は、事後課題の作成に向けて、さらに学びを深めました。

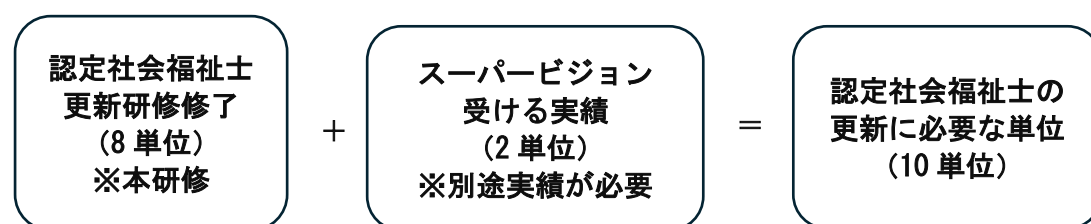


受講者が本研修を修了することができれば、認定社会福祉士の更新に大きく近づく形になります。認定社会福祉士の更新要件として、本研修を修了する他、別途、認定社会福祉士認証・認定機構への更新申請が必要となりますが、本研修での学びを生かして、積極的な更新申請に繋がることを期待しています。

なお、本研修は、2024年度も開催される予定です（開催時期未定）。認定社会福祉士の更新を検討されている方、更新したいが研修単位数が不足している方等がいらっしゃいましたら、積極的に本研修にお申込みをいただければと思います。

#### ◆認定社会福祉士更新研修について◆

本研修の修了（8単位相当）と、スーパービジョンを受けた実績（2単位相当）で、更新に必要な単位（10単位相当）が取得できます。



- ※ 本研修には、認定社会福祉士制度 研修単位細則 別表2「認定社会福祉士の更新に必要な単位数」で示す、分野専門「各分野の制度等の動向（認定を受けている分野に限る）」と、定められた実績「研究会、学会又はそれに準ずる研修会での発表実績」を含んでいます。
- ※ 定められた実績「研究会、学会又はそれに準ずる研修会での発表実績」は、認定社会福祉士制度「認定社会福祉士認定規則第19条第6号及び第24条第7号に規定する定められた実績について」で定める、「別表1 認定社会福祉士の更新に必要な定められた実績の対象」及び「別表2 認定上級社会福祉士の申請に必要な定められた実績の対象」の「教育研究実績」とすることができます。

以上